

# ♪ ようこそ!吉野熊野国立公園へ♪

10月後半に宇久井半島で見られるなかまたち!



## ☆「カタバミ カタバミ科」☆

庭や道端で見られる多年草。茎は地を這い広がる。葉が睡眠運動をし、3枚の小葉が夕方になると閉じる。



## ☆「シャリンバイ バラ科」☆

海岸や海岸に近い山地に見られる常緑低〜小高木。球形の果実の中に丸い種子が1個入っている。



## 「センナリホズキ ナス科」

熱帯アメリカ原産の一年草。葉は互生。鋸歯があり先端が尖る。葉腋から花柄をだし、小さな果実がつく。



## ☆「オオイタビ クワ科」☆

常緑のつる性木本。雌雄異株で写真は雄株。枝から気根（空気中に露出した根）を出して岩などにつく。



## ☆「クロガネモチ モチノキ科」☆

常緑高木。雌雄異株。赤く熟した球形の果実の中に核が4〜6個あり、核の中に種子が1個入っている。



## 「ノアズキ マメ科」

全体に軟毛がある。豆果は長さ約4cmの広線形で、種子の表面にうずら卵のような模様がある。



## 「センニンソウ キンポウゲ科」

花が終わると花柱が伸び、白くて長い毛が密生する。それを仙人のヒゲや白髪に例えたといわれる。



## ☆「ヒサカキ サカキ科」☆

常緑低〜小高木。葉は厚い革質で互生する。関東地方ではサカキの代用として、枝葉を神事に用いる。



## 「ヒメクグ カヤツリグサ科」

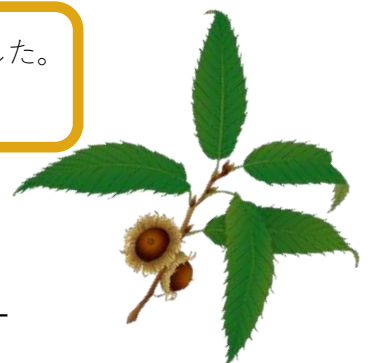
日当たりの良い湿った場所に生える多年草。茎の先に葉状の苞2〜3個あり、間から球形の花序をつける。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

ようこそ! 宇久井ビジターセンターへ! 朝晩は少し肌寒くなってきました。  
園地では様々な植物が結実しています。ぜひ探してみてください〜

※ごみは持ち帰りましょう!  
※畑に無断で入らないようにしましょう!  
※植物や生き物を大切にしましょう!

2026年10月後半号  
宇久井ビジターセンター



# 吉野熊野国立公園 宇久井半島

## ＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)  
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)  
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター周回コース (一周約40分)  
① → ② → ④ → ⑥ → ① 約1200m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)  
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)  
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

## 自然観察の森

## 赤灯台

## 地玉(じこく)の浜

## 千尋の浜

(上地の浜)

## 松尾展望広場

## 外の取

フェリーターミナル方面  
通行できません

メジロ  
キシバト  
ヒヨドリ  
ウグイス

南紀勝浦  
休暇村

上野展望台  
防空監視哨

オガタマノキ

蛭子神社跡地

ヤブツバキ

ヒサカキ

シロダモ

トベラ

カラスザンショウ

ヒサカキ

アオノクマタケラン

クスノキ

スタジイ

タイミンタチバナ

ヤブニッケイ

カンコノキ

水壺の跡

ネズミモチ

ヒメユズリハ

モチノキ

モチツツジ

タフノキ

木のすき間から浜が見えます。

灯台まであと4分

ハマオモト  
ハマナデシコ  
ハマゴウ  
ハマナタマメ  
トベラ

竹林

シロダモ

ホルトノキ

木のすき間から海が見えます。

至休暇村

ヤブツバキ

ヤマモモ

ヘラシダ

ヒサカキ

モチノキ

ハゼノキ  
(メジロがよく食べに来ます)

マルバウツギ

ビジターセンター

至 R42



## 凡例

- P 駐車場
- あすまや
- 案内板
- 展望地
- 水道
- お手洗い
- 自動販売機
- 車道
- 舗装路
- 林内の遊歩道
- 階段